

# 球体のパビリオン「まる」

Spherical Pavilion “MARU”



撮影：渡邊修

2014年の開館10周年を記念し、当館の設計者である妹島和世+西沢立衛／SANAAによる球体のパビリオン「まる」を美術館外構部に設置、11月に公開した。

「まる」は、鏡面仕上げのステンレス製の半球がいくつも集まり、一つの「まる」になるような形をしており、鏡面が周囲の風景をやわらかく映し出す。

As a 10th anniversary 2014 commemorative event, the Spherical Pavilion “MARU” designed by the museum’s architects, Sejima Kazuyo + Nishizawa Ryue / SANAA, was established outside the art museum and opened in November. Composed of a group of stainless steel half-domes with mirror finishes, arranged in a circle (“maru”), the pavilion’s mirror surfaces softly reflect the surrounding scenery.

構造：ステンレス構造、  
鏡面仕上げの球が集まった建築物  
寸法：H約4×W約6×D約6m  
設計：妹島和世+西沢立衛／SANAA  
工期：2015年6月-2016年11月  
※2016年11月19日より公開

球体のパビリオン「まる」完成記念 妹島和世トーク  
日時：2016年11月20日(日) 13:30-14:30  
会場：シアター 21  
出演：講師・妹島和世(建築家)  
対談者・秋元雄史(金沢21世紀美術館館長[当時])  
入場者数：133名